

2019年度 フォレスト旭川カントリークラブ 競技会

本競技においてはこのローカルルール・競技の条件と日本ゴルフ協会ゴルフ規則を適用する。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（OB）は白杭で定める。（定義 40）
2. ペナルティーエリアは黄杭（黄線）又は赤杭（赤線）をもって限界を表示する。
3. 異常なグラウンド状態
 - (a) 修理地は青杭又は、白線をもってその限界を定める。
 - (b) 修理地内のプレーは禁止する。
4. 13番ショートホールにおいて、球がペナルティーエリアに入った場合、1打罰追加して指定ドロップ区域にドロップしてプレーする事が出来る。
5. 1番ホール8番ホール間、11番ホール12番ホール間、及び14番ホール15番ホール間のアウトオブバウンズ（OB）と指定されている区域を超えていった球は、球が向こう側のコースに止まっている場合でも、アウトオブバウンズ（OB）の球とする。
6. アウトオブバウンズ（OB）・紛失球の場合、ゴルフ規則 18.3a（暫定球）に基づいて処理をする事とする。
7. 距離計測機器の使用（規則 4-3a）

この競技において、このコースにおけるすべてのプレーヤーに対して、プレーヤーは距離計測機器（高低差あり）の使用によって距離等の情報を得ることができる。
8. プレーヤーは正規のラウンド中、カーナビ及び乗用カートに乗り運転操作する事が出来る。但し委員会が別に定めている場合を除く。
9. 球やボールマーカーがパッティンググリーン上で動いた場合
球やボールマーカーがパッティンググリーン上で動いたことに対して2つの特別な規則がある。
 - (1) 偶然に球を動かす原因となったことに対する罰はない。プレーヤー、相手、またはストロークプレーの別のプレーヤーがそのプレーヤーのパッティンググリーン上の球やボールマーカーを偶然に動かした場合、罰はない。
プレーヤーは：
 - ・ 球を元の個所にリプレースしなければならない（分からない場合は推定しなければならない）（規則 14.2 参照）。または
 - ・ 球が元あった個所をマークするためにはボールマーカーを置かなければならない。例外—バックスイングやストロークをしている間に球が動き始め、そしてストロークを行った場合、その球はあるがままにプレーしなければならない（規則 9.1b 参照）。
プレーヤーや相手がパッティンググリーン上のプレーヤーの球やボールマーカーを故意に拾い上げた場合に罰があるかどうかについては規則 9.4、または規則 9.5 参照。
 - (2) 自然の力が動かした球をリプレースする場合。自然の力がパッティンググリーン上のプレーヤーの球を動かす原因となった場合、そのプレーヤーが次にプレーしなければ

ならない場所は、その球（自然の力で動かされる前に）すでに拾い上げてから元の個所にリプレースしていたかどうかによる：

- ・すでに拾い上げてからリプレースしていた球。プレーヤー、相手または外的影響ではなく、自然の力が球を動かしたとしても、その球は元の個所（分からない場合は推定しなければならない）（規則 14.2 参照）にリプレースしなければならない（規則 9.3 例外参照）。
- ・まだ拾い上げておらず、リプレースしていない球。その球は新しい個所からプレーしなければならない（規則 9.3 参照）

10. 地面にくい込んでいる球の救済

ジェネラルエリアのどこでも地面にくい込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げてふき、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所に来るだけ近い所の救済エリアから、1 クラブレンジス以内にドロップすることが出来る。

競 技 の 条 件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格

ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていないなければならない。この競技の条件に違反して最新のリストに掲載されていない球でストロークを行ったことに対する罰：失格

ゴルフ規則 II.8 ローカルルールのひな型 G-3 『適合球リスト』を適用

3. プレーのペースについて（規定 6-7 注 2）

競技委員会はスロープレー防止を目的として、9 ホール（ハーフ）の許容時間は、2 時間 10 分のプレーペースのガイドラインとする。また、前の組との間隔が 1 ホール以上空いた場合、注意を警告し、以後合理的時間内（3 ホール以内）に遅れを取り戻す事が出来なかった場合、

初回の違反 1 打 2 回目の違反 2 打

その後更に違反があった場合は 競技失格

4. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終了したばかりのホールのグリーン上及びその近くでは、いかなる練習ストロークも行ってはならない。

但し、練習グリーン上でのパター練習・アプローチ練習は可とする。

5. スコアカードの提出

本競技においてはエリア方式（ハウス内）を採用する。

6. タイの決定

タイの決定方法は該当する競技規定に定める。

7. 競技終了時点

本競技は、競技委員会の作成した成績表が掲示された時点をもって終了したものとみなす。